

評価委員会総合評価

研究課題名：海洋モデルの高度化に関する研究

評価委員

委員長：瀬上 哲秀

委員：三上 正男、中村 誠臣、齊藤 和雄、露木 義、山田 眞吾、  
藤部 文昭、角村 悟、横田 崇、蒲地 政文、千葉 剛輝、井上 卓

評価年月日：平成 25 年 12 月 24 日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否  可  否  
(2) 修正の必要の有無  修正の必要あり  修正の必要なし

2. 総合所見

本研究は、現業海洋モデルの開発・改良と、海洋モデルを用いた地球温暖化や気候変動に伴う海洋の変動機構の解明を目的としている。

海洋資源の活用は、我が国の重要政策の一つであり、その資源の有効活用において、将来、海洋モデルは重要な位置を占める可能性がある。

気候変動から沿岸防災までをシームレスに扱える海洋モデルの開発は、沿岸防災や海洋環境のより正確な把握を通じて水産資源の有効利用などに資するほか、季節予報や地球温暖化予測の精度向上を通じて気象業務への貢献が大いに期待される。

一方、研究課題の目標設定に抽象的などころがあるため、研究の実施に当たっては、本庁等との情報交換を行って目標を明確化させるとともに、計画にある海洋炭素循環の再現性向上に関する研究に加えて、海面水位の変動や海氷モデルの研究も検討する必要がある。これらについては、モデル技術開発部会のもとで、検証・分析に注力しながら進めて欲しい。また、海洋モデルの検証のためには、広域かつ稠密な観測データが必要であることから、他機関との連携を積極的に行って欲しい。日本近海領域モデルについては、重点研究「沿岸海況予測技術の高度化に関する研究」と連携して実施して欲しい。